

シェルと空間構造に関する夏期セミナー2009

開催期日：2009年8月4日(火)～8月7日(金)

開催場所：霧島国際ホテル

〒899-6603 鹿児島県霧島市牧園町高千穂 3930 番地 12 電話：0995-78-2621

<http://www.kirikoku.co.jp/>

【研究発表について】

- ・ 別紙の発表スケジュールを確認してください。到着時刻を考慮してスケジュールを組んだつもりですが、不都合がありましたらご連絡ください。また、間違いなどがございましたらお知らせください。
- ・ 発表時間は1題あたり14分(発表9分、質疑5分)です。
- ・ 発表はPCプロジェクターを用いておこないます。ノートパソコンは各自持参してください。
- ・ 発表資料(論文やレジュメ、形式自由)を作成し、51部コピーしてきてください。

【宿泊について】

- ・ 本セミナーの参加費(宿泊費、食事代)は、
学生 25,000 円 (8,000 円×3泊+1,000 円(懇親会費))
一般 28,000 円 (9,000 円×3泊+1,000 円(懇親会費))
です。当日集金しますので、お釣りの無いようにご持参ください。
- ・ ホテルの部屋は4～5名の相部屋になります(もし、何らかの事情で一人部屋にしてほしいという方がいらっしゃいましたらご連絡ください)。

【霧島登山について】

- ・ 6日(木)は霧島登山を予定しています。登山口まではホテルのバスで移動します。参加される方は、雨具、帽子、靴、リュックなどの準備をお願いします。

【交通手段について】

- ・ 初日(8/4)、10:00と12:00に鹿児島空港に霧島国際ホテルの送迎用バスが迎えに行く予定です。国内線ターミナル出入口を出て右にむかい、ビル(国内線)の端のほうでお待ちください。(何か不都合がありましたらご連絡ください。)

連絡先 鹿児島大学工学部建築学科 山本憲司

TEL.099-285-8314, 090-5384-0536(緊急時)

E-Mail yamamoto@aae.kagoshima-u.ac.jp

シェル・空間構造に関する夏期セミナー2009 スケジュール

	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)	
8:00		7:00~8:30	7:00~8:30	7:00~8:30	
8:15		朝食	朝食	朝食	
8:30					
8:45					
9:00		9:00~10:38	霧島登山	9:30~	
9:15		Session 2-1			
9:30					
9:45					
10:00					
10:15					
10:30		10:38~10:50			
10:45		10:50~12:14			
11:00		Session 2-2			
11:15					
11:30					
11:45					
12:00					
12:15	12:13~13:15				
12:30	昼食				
12:45					
13:00					
13:15	13:15~14:53				
13:30	Session 2-3				
13:45					
14:00					
14:00	14:00~15:38				
14:15	Session 1-1				
14:30					
14:45					
14:45	14:53~15:05				
15:00	15:05~16:43				
15:15					
15:30	15:38~15:50				
15:45	15:50~17:14				
16:00	Session 1-2				
16:15					
16:30					
16:45	16:43~16:55				
17:00	16:55~18:19				
17:15	Session 2-5				
17:30					
17:45					
18:00					
18:15					
18:30	18:30~	18:00~			
18:45	夕食	夕食		懇親会	
19:00					
19:15					
19:30					
19:45					

一題14分(発表9分, 質疑応答5分)

発表番号	発表者	発表題目
Session 1-1	8月4日(火)14:00~15:38	司会:山本 憲司(鹿児島大)
14:00 S111	佐藤 忠俊(鹿児島大)	解の多様性を考慮したGA系解法による自由曲面シェル構造の多目的最適化
14:14 S112	熊谷 祥吾(東京大)	2005年8月16日の宮城県沖の地震時に発生した大型天井面の落下事故に関する基礎的考察
14:28 S113	陳 毅哲(東京大)	応力密度法の逆懸垂によるタワー型構造の形態に関する基礎的検討
14:42 S114	桜井 克頼(名古屋大)	ESO法を用いた骨組構造物の形態創生に関する研究
14:56 S115	前根 文子(名古屋大)	形状・厚さ・位相の同時最適化による自由曲面シェル構造の形態創生
15:10 S116	Ali J. Babaei(東京大)	Safety of Wide Roof Buildings in Earthquakes
15:24 S117	小野 聡子(有明高専)	スプリングネットワークモデルを用いたトラス構造物の形態創生に関する基礎的研究
15:38		
Session 1-2	8月4日(火)15:50~17:14	司会:小野 聡子(有明高専)
15:50 S121	野村 圭介(東海大)	平板とボルトからなる矩形シェルと球形シェルの要素寸法算出法
16:04 S122	櫻井 重喜(東京大)	非地震時における屋内プール天井の落下被害に関する基礎的考察
16:18 S123	福留 正樹(鹿児島大)	膜構造物の裁断図解析と動的解析に関する研究
16:32 S124	小澤 祐周(東京大)	非構造材落下防止ネットの力学と形状に関する基礎的考察
16:46 S125	山本 憲司(鹿児島大)	シングルデッキ型浮屋根を有する円筒液体貯槽の非線形スロッシング解析
17:00 S126	西村 督(金沢工大)	水平動を受ける伝統的木造柱の動揺現象
17:14		
Session 2-1	8月5日(水)9:00~10:38	司会:本間 俊雄(鹿児島大)
9:00 S211	皆川 洋一(鹿児島大)	円筒タンクに生起する非線形振動応答
9:28 S212	内山 聡志(金沢工大)	円筒形単層ラチスシェルにおける積雪荷重の影響についての解析的研究
9:42 S213	秋野 良太(東京大)	不安定アーチの安定性に関する基礎的考察
9:56 S214	山崎 康太(名古屋大)	空間骨組構造物における冗長性評価手法に関する研究
10:10 S215	萩 芳郎(東京大)	2008年岩手県沿岸北部地震による大規模集客施設の非構造材被害
10:24 S216	山田 耕司(豊田高専)	(仮題)壁土試験体の乾燥と配合による強度変化
10:38		
Session 2-2	8月5日(水)10:50~12:14	司会:萩原 伸幸(大同大)
10:50 S221	三木 優彰(東京大)	張力構造の形状決定における応力密度法の拡張と汎関数の選択に関する考察
11:04 S222	王 華国(名古屋大)	Practical Design Optimization of Truss Structure Using Genetic Algorithm
11:18 S223	中田 聡(名古屋大)	建築構造物のライフサイクルデザイン手法の構築に関する研究
11:32 S224	永井 拓生(東京大)	大空間構造物の吊天井板の動的応答解析
11:46 S225	松本 慎也(広島大)	紫外線硬化型FRPによる既存木造住宅の耐震補強工法の開発に関する研究
12:00 S226	大矢 俊治(東京大)	2008年岩手・宮城内陸地震における大規模集客施設の非構造材被害
12:14		
Session 2-3	8月5日(水)13:15~14:53	司会:山田 耕司(豊田高専)
13:15 S231	和田 大典(鹿児島大)	張力構造におけるUpdated-Largrange法を用いた座標仮定有限要素法の研究
13:29 S232	本田 沙耶香(金沢工大)	発泡ポリスチレン製球形シェル構造の力学的性状に関する解析的研究
13:43 S233	曾根 朋久(東京大)	リユース可能な展開型アーチ構造物の開発と展開実験に関する研究
13:57 S234	下野 晋(鹿児島大)	遺伝的アルゴリズムによるロバスト性を考慮した構造形態創生の試み
14:11 S235	小玉 真一(名古屋大)	遺伝的アルゴリズムによる鋼構造物の構造創生支援に関する研究 ~小梁配置最適化の導入~
14:25 S236	川口 健一(東京大)	実大テンセグリティ架構の温度応力モニタリング
14:39 S237	諸岡 繁洋(東海大)	半剛節片持梁について
14:53		
Session 2-4	8月5日(水)15:05~16:43	司会:松本 慎也(広島大)
15:05 S241	佐治 和哉(近畿大)	グランドストラクチャ法による3次元骨組の位相最適化
15:19 S242	谷川 正明(鹿児島大)	格子状平板の強制変位による曲面形成に関する実験的研究
15:33 S243	藤田 啓(名古屋大)	満足度指標を用いた信頼性最適化設計法の提案
15:47 S244	米 今日子(金沢工大)	スラブとシェルの複合構造の力学的性状に関する研究— 荷重モードの違いによる影響 —
16:01 S245	本川 英治(近畿大)	ポータブル加速時計を用いた木造建物の低コスト動的耐震診断手法の開発
16:15 S246	萩原 伸幸(大同大)	小型載荷装置を援用した力とデザインに関する体験学習と縮小模型実験の試み
16:29 S247	高山 誠(金沢工大)	RC円弧アーチの力学的性状に関する研究
16:43		
Session 2-5	8月5日(水)16:55~18:19	司会:諸岡 繁洋(東海大)
16:55 S251	内田 拓見(東京大)	人体耐性指標を用いた天井材の安全性評価に関する基礎的研究
17:09 S252	大場 康史(東京大)	兵庫県南部地震被災体育館等の追跡調査/吹抜を有する建築物の偏心
17:23 S253	石田 高義(名古屋大)	多目的最適化手法による鋼構造物の構造創生支援に関する研究 ~偏心ブレースへの拡張~
17:37 S254	内藤 亜衣子(東海大)	段差付きスラブの応力評価における梁要素モデル有効性の検討
17:51 S255	大森 博司(名古屋大)	膜張力測定装置の開発・中間報告
18:05 S256	本間 俊雄(鹿児島大)	臨界状態解析と感性評価を用いた景観評価について
18:19		